みずほCustomer Desk Report 2017/07/26 号(As of 2017/07/25)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	111.35	
TKY 9:00AM	111.25	1.1638	129.48	0.9476	1.3024	0.7926
SYD-NY High	111.95	1.1712	130.58	0.9526	1.3084	0.7970
SYD-NY Low	110.83	1.1631	129.27	0.9456	1.3008	0.7903
NY 5:00 PM	111.90	1.1646	130.32	0.9526	1.3028	0.7937
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.015/8.415	Δ25RR	1.045	Yen Call Over

NY DOW	21,613.43	100.26	債券市場	日本2年債	-0.1040	1.3bp
NASDAQ	6,412.17	1.36		日本10年債	0.0760	0.4bp
S&P	2,477.13	7.22		米国2年債	1.3899	3.3bp
日経平均	19,955.20	▲ 20.47		米国5年債	1.8900	6.9bp
TOPIX	1,617.07	▲ 4.50		米国10年債	2.3354	8.0bp
ｼｶｺﾞ日経先物	20,080.00	105.00		独10年債	0.5660	5.8bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,434.82	57.09		英10年債	1.2580	7.0bp
DAX	12,264.31	55.36		豪10年債	2.6900	1.2bp
ﾊﾝｾﾝ指数	26,852.05	5.22	為替市況	USD/CNH	6.7588	0.0093
上海総合	3,243.69	▲ 6.91		ドルインデックス	94.08	0.10
USDJPY 3M Vol	8.70	▲0.08%	商品市況	CRB指数	177.666	1.43
USDJPY 6M Vol	8.95	▲0.13%		NY金	1,258.50	▲2.20
EURJPY 3M Vol	9.51	0.14%		WTI	47.89	1.55
EURJPY 6M Vol	9.75	0.03%		Dubai Spot	47.69	0.88

東京

朝方に発表された日銀議事要旨では、具体的な内容や時期について議論は無かったものの、出口論を巡る不確実な情報が市場に与える混乱については懸念が示された。しかし、ﾄﾞﾙ円相場への影響は限定的となり、東京時間のﾄﾞﾙ円は111.25 ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。本邦勢による実需ﾌﾛｰも散見される中、ﾄﾞﾙ円は仲値にかけて111.34まで上昇。その後、前日比ﾌﾟﾗｽ圏で推移していた日経平均がﾏｲﾅｽ圏に転落すると、ﾄﾞﾙ円も一時111円割れまで下落。110円台では押し目買いの動きも見られる中で111円台を回復するも、引けにかけて全般的にﾄﾞﾙ売り優勢地合いとなりﾄﾞﾙ円は一時110.86まで軟化し、結局そのまま110.86ﾚﾍﾞﾙで海外へ渡った。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は上昇した。110.86ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。欧州株が堅調に推移しﾘｽｸ回避ﾑｰﾄﾞがやや和らぐ雰囲気の中、米長期金利の上昇を背景にﾄﾞﾙ買い優勢の展開となり、ﾄﾞﾙ円は111.53まで値を上げた。その後は、FOMCを翌日に控えた様子見ﾑｰﾄﾞの中で横ばい推移となり結局111.46ﾚﾍﾞﾙでNYへ渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙも上昇した。1.3036ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。序盤は特に注目する材料も無く小幅推移となるも、その後は英産業連盟(CBI)が発表した7月英製造業受注指数が10となり、前月の16から低下したものの、3か月(5-7月)指数が31と1995年1月以来の高水準となった事が好感されﾎﾟﾝﾄﾞ買いとなり1.3065ﾚﾍﾞﾙにてNYへ渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 丸野)

ニューヨーク

海外時間のﾄﾞﾙ円はこの日の安値となる110.83をつけた後に反発し、111.46ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方発表された米小売大手、米建機大手の決算が好感され米株が高く寄り付いたことや、米7月消費者信頼感が4ヶ月ぶりの上昇となったことを受けて、米金利上昇と共にﾄﾞﾙ円は111.68まで上昇。その後は111.60付近での底堅い推移となったが、WTI原油が2日連続で続伸したことや、午後に共和党のｵﾊﾞﾏｹｱ代替法案の審議入りが可決されたことを受けて、ﾄﾗﾝﾌﾟ政権の運営に対する不透明感が和らぎ、ｼｮｰﾄｶﾊﾞｰからﾄﾞﾙ円は高値111.95まで上昇。しかし112円台に乗せることはできず、111.90付近での推移が続き、結局111.90ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。なお日中は、「北朝鮮、来年にも核兵器搭載可能なICBMを打ち上げ可能に」との報道が伝わったが、市場の反応は限定的となった。一方ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.16台前半から上昇し1.1668ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。海外時間の堅調な流れを引き継ぎ、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは一時高値1.1712まで上昇。しかし1年11ヶ月ぶりとなる水準では達成感から戻り売り意欲も強く、また国際通貨基金(IMF)がﾕｰﾛ圏の景気見通しに対して下振れﾘｽｸがあると警告したことから、ﾕｰﾛは1.16台半ばまで反落。その後も1.1650付近での動意に欠ける推移が続き1.1646ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:高田・鶴田

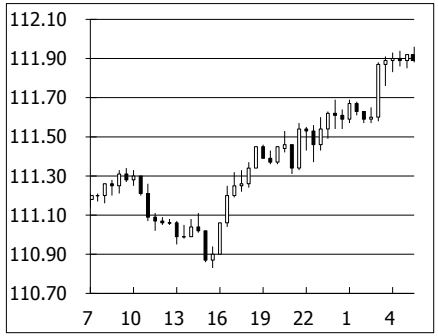
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
7月25日	8:50	日	日銀議事要旨(6/15-16開催分)	-	-	-
	17:00	独	IFO景況感/期待/現況指数	7月	116.0/107.3/125.4	114.9/106.5/123.8
	23:00	米	消費者信頼感	7月	121.1	116.5

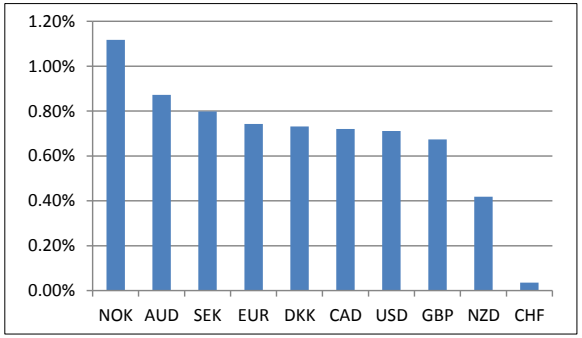
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
7月26日	10:30	豪	CPI(前期比/前年比)	2Q	0.4%/2.2%	0.5%/2.1%
	10:30	豪	CPIﾄﾘﾑ平均値(前期比/前年比)	2Q	0.5%/1.8%	0.5%/1.9%
	17:30	英	GDP・速報(前期比/前年比)	2Q	0.3%/1.7%	0.2%/2.0%
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	-	6.3%
	23:00	米	新築住宅販売件数	6月	615K	610K
7月27日	3:00	米	FOMC政策金利発表	-	1.00-1.25%	1.00-1.25%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.50	1.1600-1.1750	128.50-131.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は上伸。堅調な原油先物や独IFO等を受けて欧州株や米長期金利が急騰すると111円台半ばまで回復。さらに良好な米経済指標や企業決算が報じられると、ドル買い優勢の流れから112円手前まで上昇した。本日の東京時間のドル円は、米FOMC声明文の発表を控え様子見ムードが濃厚となり動意に乏しい展開が予想される。昨夜はリスクセンチの好転からドルが主要通貨に対して反発したものの、今後のFRBの利上げスタンスを確認するまでは一層のポジション取りは難しかろう。